



Only One Earth
環境を守ることは 未来を守ること。

株式会社タケエイ(東1: 2151)

平成31年3月期 (2019年3月期)

第2四半期決算 補足説明資料



当第2四半期決算の概況 (連結)



<累計>

単位: 百万円

	H29/9 (2017/9)		H30/9 (2018/9)					
	<実績>		<予想>			<実績>		
	売上高比	前年同期比	売上高比	前年同期比	売上高比	前年同期比	前年同期比	
売上高	14,700	—	15,800	—	+7.5%	15,243	—	+3.7%
営業利益	1,084	7.4%	1,250	7.9%	+15.2%	736	4.8%	-32.1%
経常利益	1,000	6.8%	1,170	7.4%	+17.0%	489	3.2%	-51.1%
税金等調整前 四半期純利益又は純損失	1,018	6.9%	—	—	—	-334	—	—
四半期純利益又は純損失◆	530	3.6%	630	4.0%	+18.9%	-518	—	—

◆親会社株主に帰属する四半期純利益又は純損失 ※百万円未満切捨て

<四半期>

単位: 百万円

	第1四半期		第2四半期			
	<実績>		<実績>			
	売上高比	前年同期比	売上高比	前年同期比	前年同期比	
売上高	7,380	—	+3.9%	7,863	—	+3.5%
営業利益	207	2.8%	-62.4%	529	6.7%	-0.6%
経常利益又は経常損失	-6	—	—	495	6.3%	+1.2%
税金等調整前 四半期純損失	-197	—	—	-137	—	—
四半期純損失 ◆	-272	—	—	-245	—	—

◆親会社株主に帰属する四半期純損失 ※百万円未満切捨て

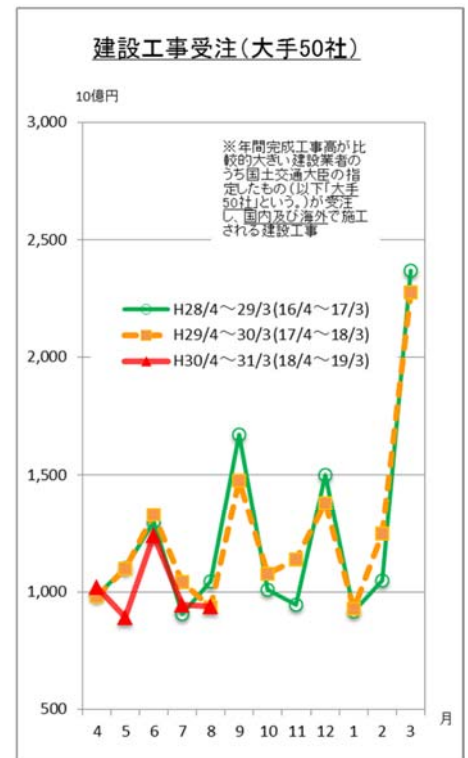
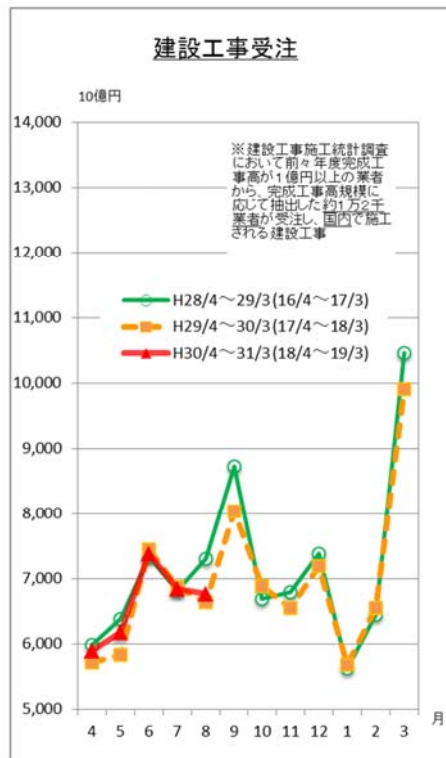
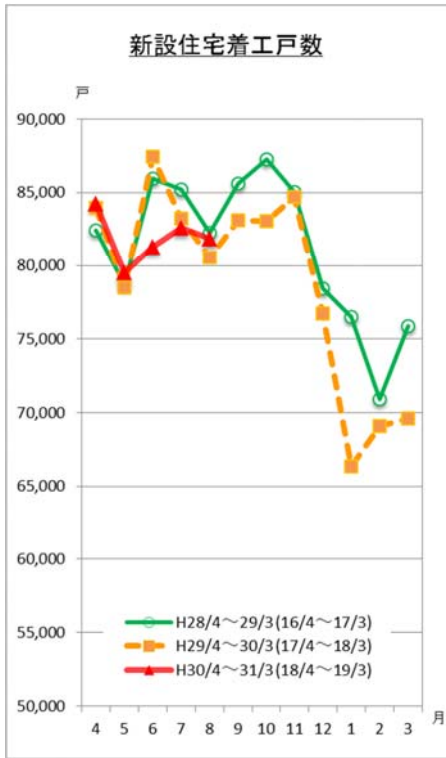
業績に影響を与えた要因

- ・(株)タケエイ単体の売上原価率は改善傾向にあるものの、昨年度までの原価率には回復していない
- ・その他グループ各社の動向は概ね予算通り
- ・(株)タケエイ単体の売上原価増加に加え、第1四半期における営業外費用の貸倒引当金繰入、第1四半期及び第2四半期における特別損失が主たる業績予想未達要因

<新設住宅着工戸数>

<建設工事受注動態統計>

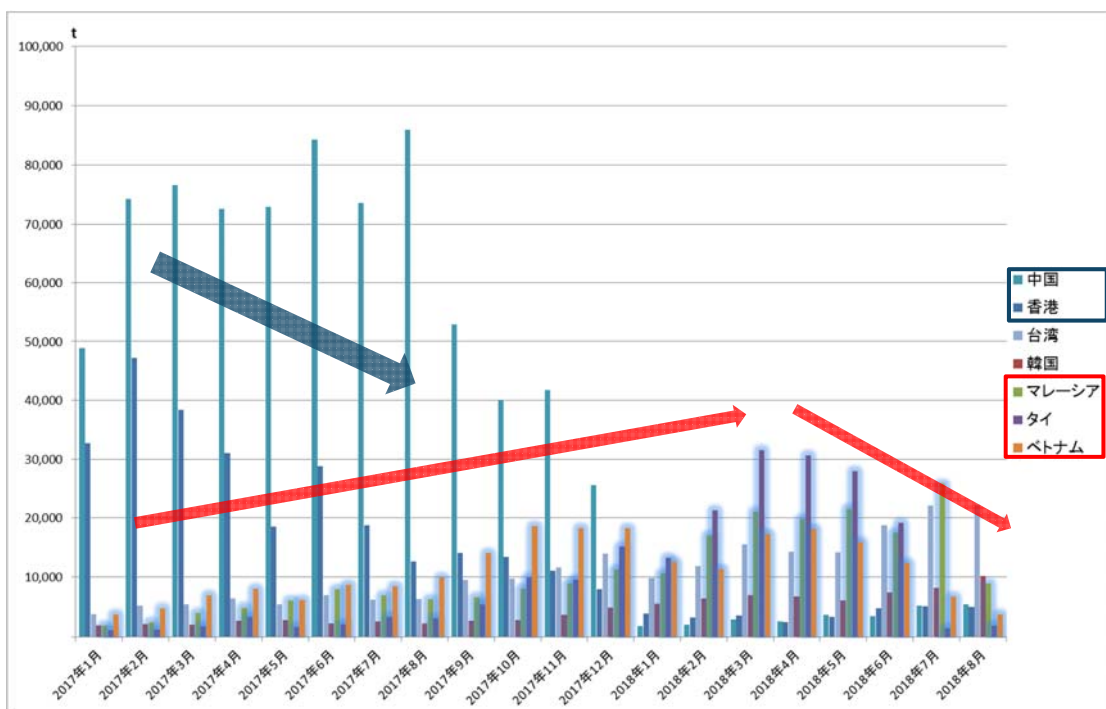
(出所:国土交通省)



中国に続き東南アジア各国でも廃プラ輸入禁止

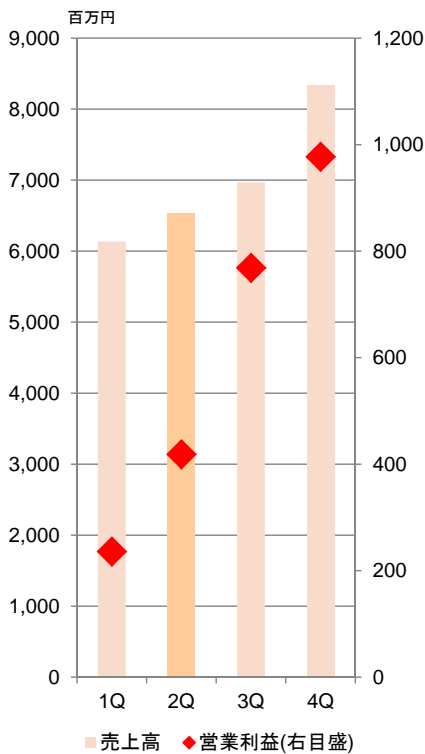
中国政府は生活ごみ由来のプラスチック、合成繊維のくずなどを2017年末までに輸入を禁止。その後、一時的にマレーシア、タイ、ベトナムで輸入が増加したが、これらの国でも輸入禁止となる。

日本からアジア各国への廃プラスチックの輸出状況変化

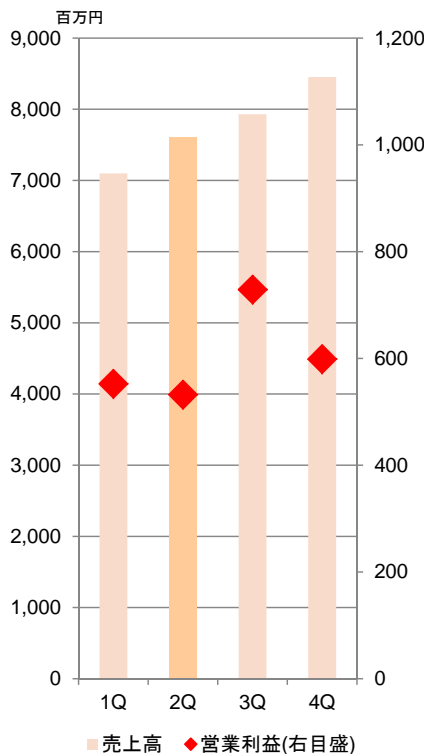


直近3事業年度における四半期決算比較 (連結)

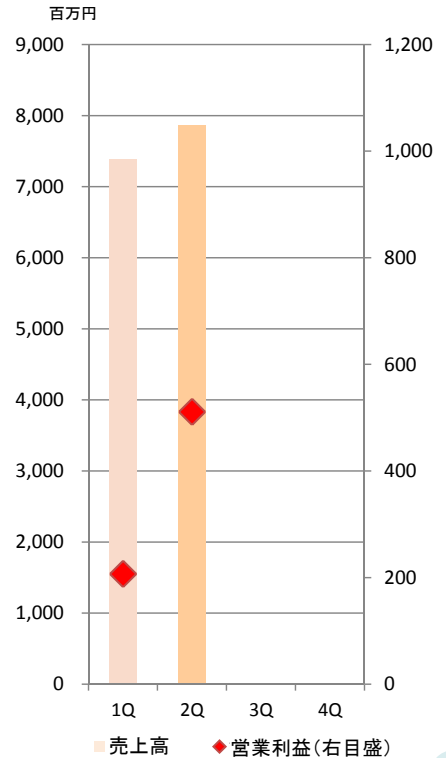
平成29年3月期
売上高・営業利益



平成30年3月期
売上高・営業利益

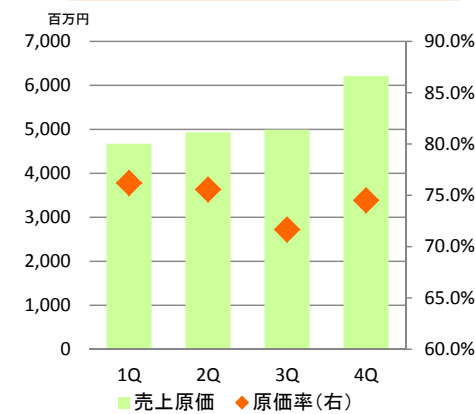


平成31年3月期
売上高・営業利益

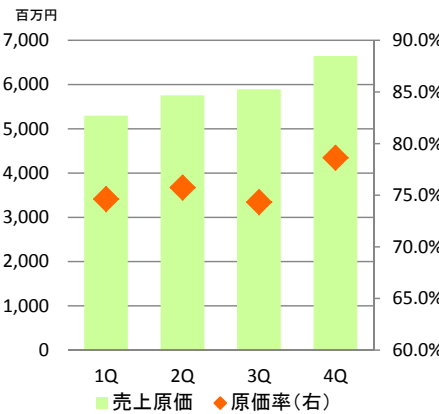


直近3事業年度における四半期決算比較 (連結)

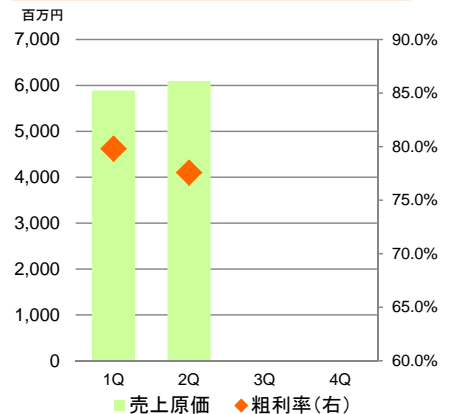
平成29年3月期
売上原価・売上原価率



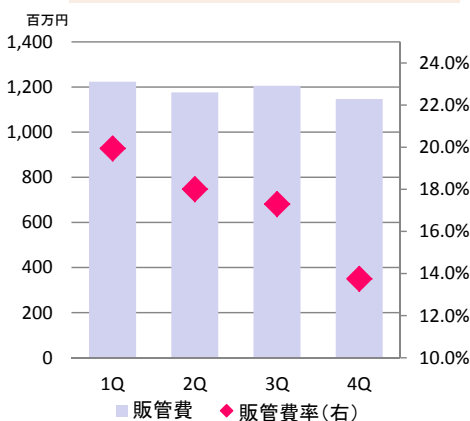
平成30年3月期
売上原価・売上原価率



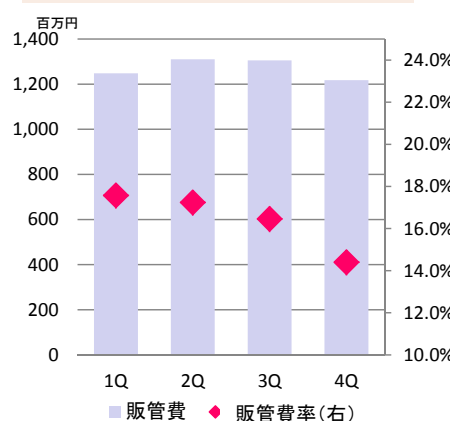
平成31年3月期
売上原価・売上原価率



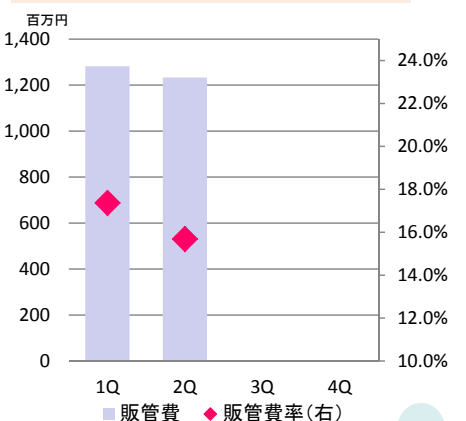
販管費・販管费率



販管費・販管费率



販管費・販管费率



タケエイ単体の売上原価（前年同期比）の推移

第2四半期(累計)比較

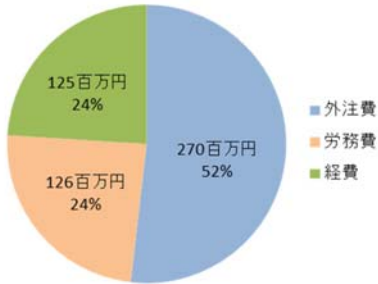
売上変化

2017年度第2四半期(累計)売上 7,209百万円
2018年度第2四半期(累計)売上 7,179百万円
増減 30百万円

売上原価変化

2017年度第2四半期(累計)売上原価 5,523百万円
2018年度第2四半期(累計)売上原価 6,009百万円
増減 486百万円

第2四半期(6か月) 売上原価増加内訳



増加分486百万円（有価物+29百万円、仕掛品+6百万円）
売上原価＝外注費＋労務費＋経費－有価物－仕掛品増加

営業利益変化

2017年度第2四半期(累計)営業利益 347百万円
2018年度第2四半期(累計)営業利益 -165百万円
増減 -512百万円

第1四半期比較

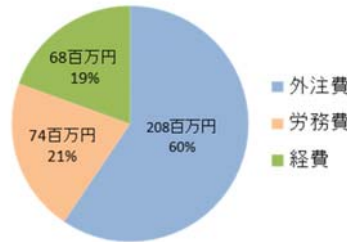
売上変化

2017年度第1四半期売上 3,596百万円
2018年度第1四半期売上 3,603百万円
増減 7百万円

売上原価変化

2017年度第1四半期売上原価 2,730百万円
2018年度第1四半期売上原価 3,054百万円
増減 324百万円

第1四半期 売上原価増加内訳



増加分324百万円（有価物+28百万円、仕掛品-2百万円）

営業利益変化

2017年度第1四半期営業利益 209百万円
2018年度第1四半期営業利益 -125百万円
増減 -334百万円

第2四半期(3か月)比較

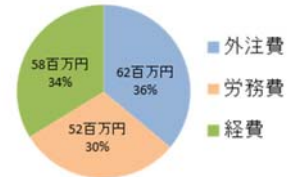
売上変化

2017年度第2四半期(3か月)売上 3,612百万円
2018年度第2四半期(3か月)売上 3,576百万円
増減 36百万円

売上原価変化

2017年度第2四半期(3か月)売上原価 2,794百万円
2018年度第2四半期(3か月)売上原価 2,955百万円
増減 161百万円

第2四半期(3か月) 売上原価増加内訳



増加分161百万円（有価物+1百万円、仕掛品+10百万円）

営業利益変化

2017年度第2四半期営業利益 138百万円
2018年度第2四半期営業利益 -40百万円
増減 -178百万円

事業カテゴリー別売上高及び営業利益（連結）

単位: 百万円

会社名	売上高			営業利益			営業利益率	
	H29.9 (2017/9)	H30.9 (2018/9)	前年同期比	H29.9 (2017/9)	H30.9 (2018/9)	前年同期比	H29.9 (2017/9)	H30.9 (2018/9)
連結	14,700	15,243	+3.7%	1,084	736	-32.1%	7.4%	4.8%
(株)タケエイ(単体)	7,209	7,179	-0.4%	347	-165	—	4.8%	—
〈マテリアル&ランドフィル事業〉	4,012	4,062	+1.2%	551	592	+7.5%	13.7%	14.6%
〈再生可能エネルギー事業〉	1,890	2,110	+11.6%	185	238	+28.6%	9.8%	11.3%
〈環境エンジニアリング事業〉	1,961	2,285	+16.5%	-23	-2	—	—	—
〈環境コンサルティング事業〉	578	657	+13.7%	88	53	-40.2%	15.3%	8.0%
連結消去	-950	-1,049		-63	21			

※百万円未満 四捨五入(連結数値のみ切捨て)

(注)1: 各カテゴリー別の数値は、グループ各社の連結消去前売上高、営業利益を単純合算

(注)2: 事業カテゴリーのうち、環境エンジニアリング事業は富士車輛株

グループ各社の売上／営業利益（率）〈累計〉

単位：百万円

会社名	売上高			営業利益			営業利益率		主な業務
	H29.9 (2017/9)	H30.9 (2018/9)	前年同期比	H29.9 (2017/9)	H30.9 (2018/9)	前年同期比	H29.9 (2017/9)	H30.9 (2018/9)	
連結	14,700	15,243	+3.7%	1,084	736	-32.1%	7.4%	4.8%	
〈廃棄物処理・リサイクル事業：建設廃棄物処理〉									
(株)タケエイ	7,209	7,179	-0.4%	347	-165	—	4.8%	—	建設廃棄物等の収集運搬・中間処理・リサイクル・最終処分
〈廃棄物処理・リサイクル事業：マテリアル〉									
(株)池田商店	357	465	+30.4%	93	166	+78.1%	26.1%	35.7%	再生骨材・再生砕石への再資源化
(株)ギプロ	464	399	-14.1%	185	144	-22.1%	39.9%	36.1%	廃石膏ボード再資源化
(株)グリーンアローズ関東	211	182	-13.5%	22	2	-92.3%	10.4%	0.9%	廃石膏ボード再資源化
(株)グリーンアローズ東北	105	129	+23.6%	-22	-13	—	—	—	廃石膏ボード再資源化
(株)タケエイメタル	506	566	+11.9%	32	29	-9.5%	6.4%	5.1%	鉄・非鉄スクラップのリサイクル
東北交易(株)	187	104	-44.6%	10	13	+30.1%	5.3%	12.5%	汚泥・燃えがら・ばいじん類・鉱さい等由来の再生砕石 製造(リサイクル)
イコールゼロ(株)	763	749	-1.8%	77	53	-31.7%	10.1%	7.0%	廃液処理・有害産業廃棄物処理・リサイクル
(株)タケエイグリーンリサイクル	287	297	+3.3%	-54	-48	—	—	—	生木等の再生資源化・再生エネルギー原料燃料化
〈廃棄物処理・リサイクル事業：ランドフィル〉									
(株)北陸環境サービス	620	601	-3.0%	243	213	-12.3%	39.2%	35.4%	管理型最終処分場の運営、廃プラリサイクル
(株)信州タケエイ	455	510	+12.1%	-37	30	—	—	5.8%	産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬・中間処理・リサイクル、解体等
(株)タケエイエナジー&パーク	58	60	+2.3%	13	17	+31.5%	21.7%	27.9%	パークゴルフ場運営、太陽光発電
(株)門前クリーンパーク	—	—	—	-12	-13	—	—	—	〈事業準備会社〉管理型最終処分場
〈再生可能エネルギー事業〉									
(株)T・Vエナジーホールディングス	—	—	—	-0.2	-0.2	—	—	—	再生可能エネルギー事業への投融資・運営
(株)津軽バイオマスエナジー	750	833	+11.0%	94	142	+50.3%	12.5%	17.0%	木質バイオマス発電
(株)花巻バイオマスエナジー	750	751	+0.1%	116	77	-33.3%	15.4%	10.3%	木質バイオマス発電
(株)田村バイオマスエナジー	—	—	—	-16	-19	—	—	—	〈事業準備会社〉木質バイオマス発電
(株)横須賀バイオマスエナジー	—	—	—	-7	-12	—	—	—	〈事業準備会社〉木質バイオマス発電
秋田グリーン電力(株)	—	—	—	-0.8	-6.7	—	—	—	〈事業準備会社〉木質バイオマス発電
花巻バイオチップ(株)	293	311	+5.8%	-12	32	—	—	10.3%	木質バイオマス発電用燃料の製造・供給
(株)津軽あつふるパワー	60	57	-5.4%	6	5	-10.8%	9.8%	9.2%	小売電気事業
(株)花巻銀河パワー	37	159	+336.2%	5	20	+319.3%	13.3%	12.8%	小売電気事業
(株)大仙こまちパワー	—	—	—	—	-0.04	—	—	—	〈事業準備会社〉小売電気事業 H30/8設立
〈環境エンジニアリング事業〉									
富士車輛(株)	1,961	2,285	+16.5%	-23	-2	—	—	—	環境プラント・車輛等の開発・製造・販売
〈環境コンサルティング事業〉									
環境保全(株)	319	351	+9.9%	34	14	-58.7%	10.8%	4.1%	環境計量証明事業
(株)アースアプレイザル	259	306	+18.4%	54	39	-28.4%	20.9%	12.6%	環境コンサルティング
消去	-950	-1,049		-63	21				

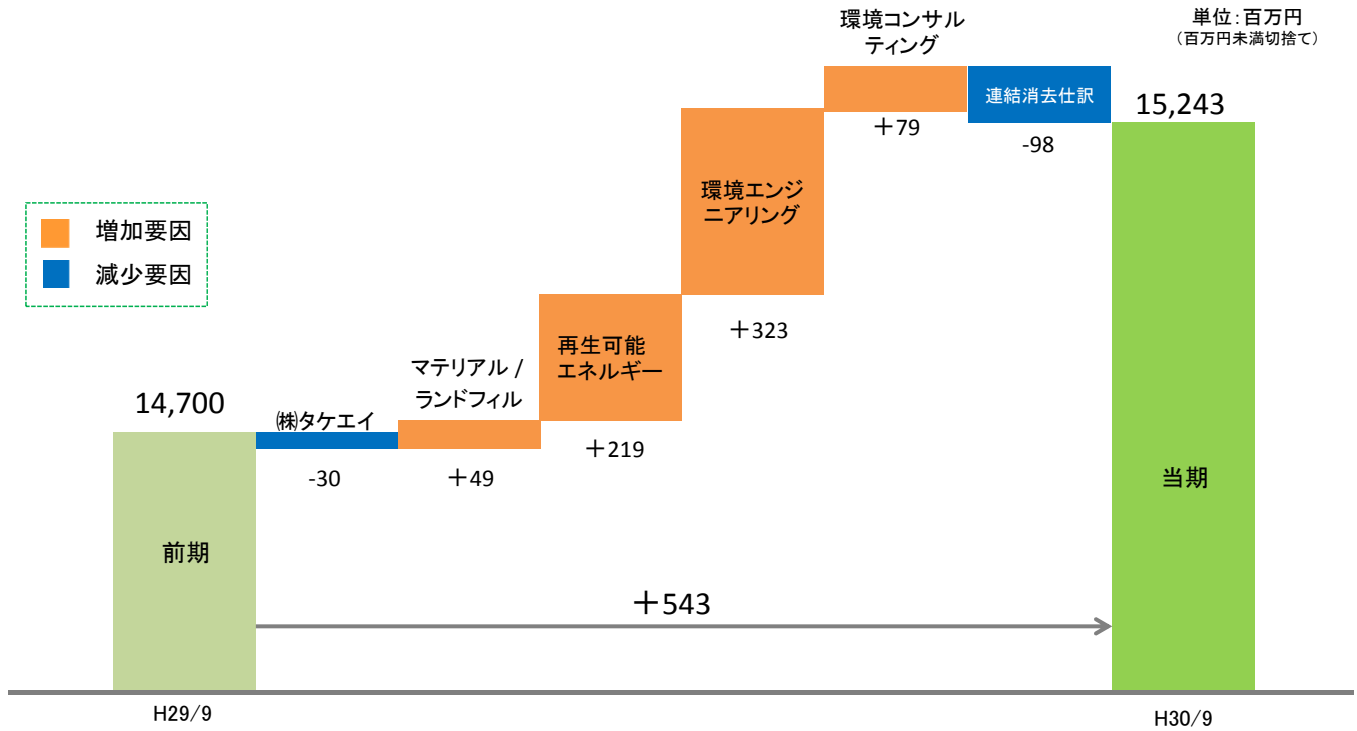
※百万円未満 四捨五入(連結数値のみ切捨て)

(注)平成31年3月期より、(株)タケエイグリーンリサイクル及び(株)タケエイエナジー&パークは従来の〈再生可能エネルギー事業〉からそれぞれ、〈廃棄物処理・リサイクル事業：マテリアル〉、〈廃棄物処理・リサイクル事業：ランドフィル〉に変更

事業カテゴリー別売上高 増減分析 (連結)

○再生可能エネルギー: 未利用材の割合が増加し売電単価が上昇、さらに小売りが増加

○富士車輛 (株): 環境及び車輛関連の売上がいずれも堅調



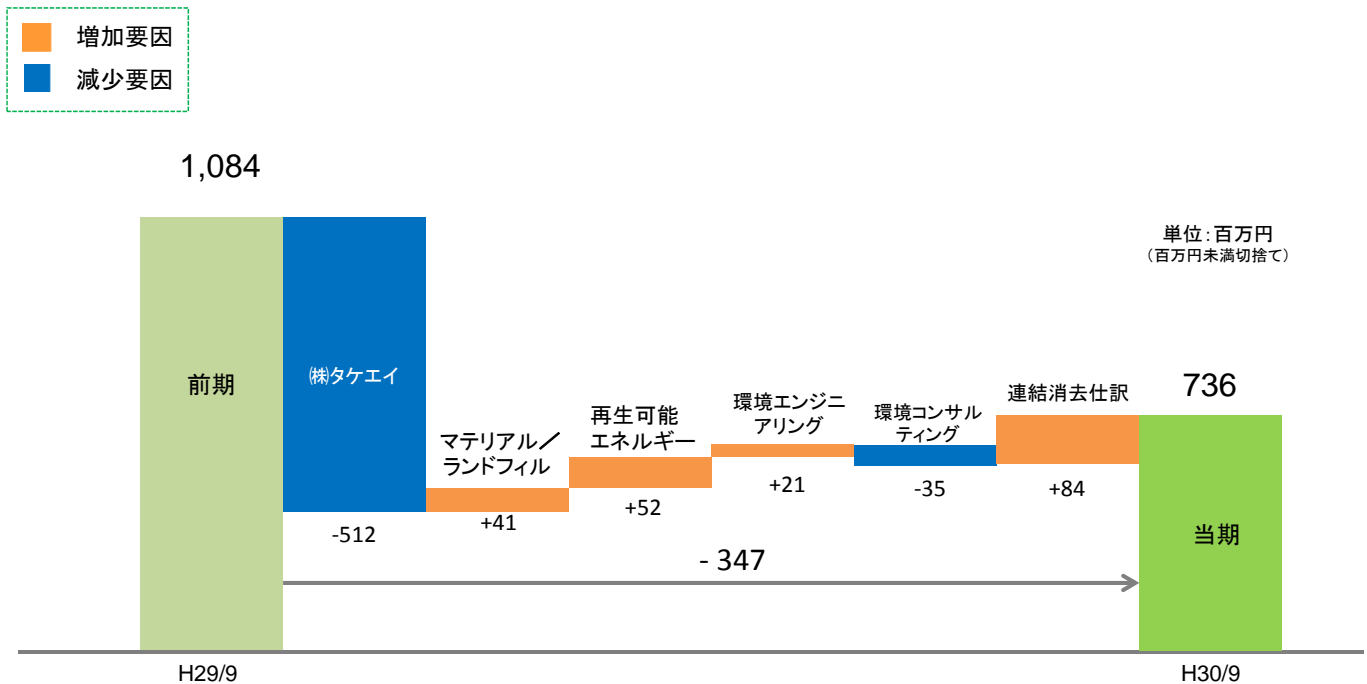
(注) 1: 各カテゴリー別の数値は、グループ各社の連結消去前売上高の増減を単純合算

事業カテゴリー別営業利益 増減分析 (連結)

○(株)タケエイ: 外部運搬費、外部処理費、労務費、消耗品費、修繕費の増加により営業減益

○マテリアル/ランドフィル: (株)池田商店が好調

○再生可能エネルギー: (株)津軽バイオマスエナジーの効率的運転により増益



(注) 1: 各カテゴリー別の数値は、グループ各社の連結消去前営業利益の増減を単純合算

損益動向 (連結)

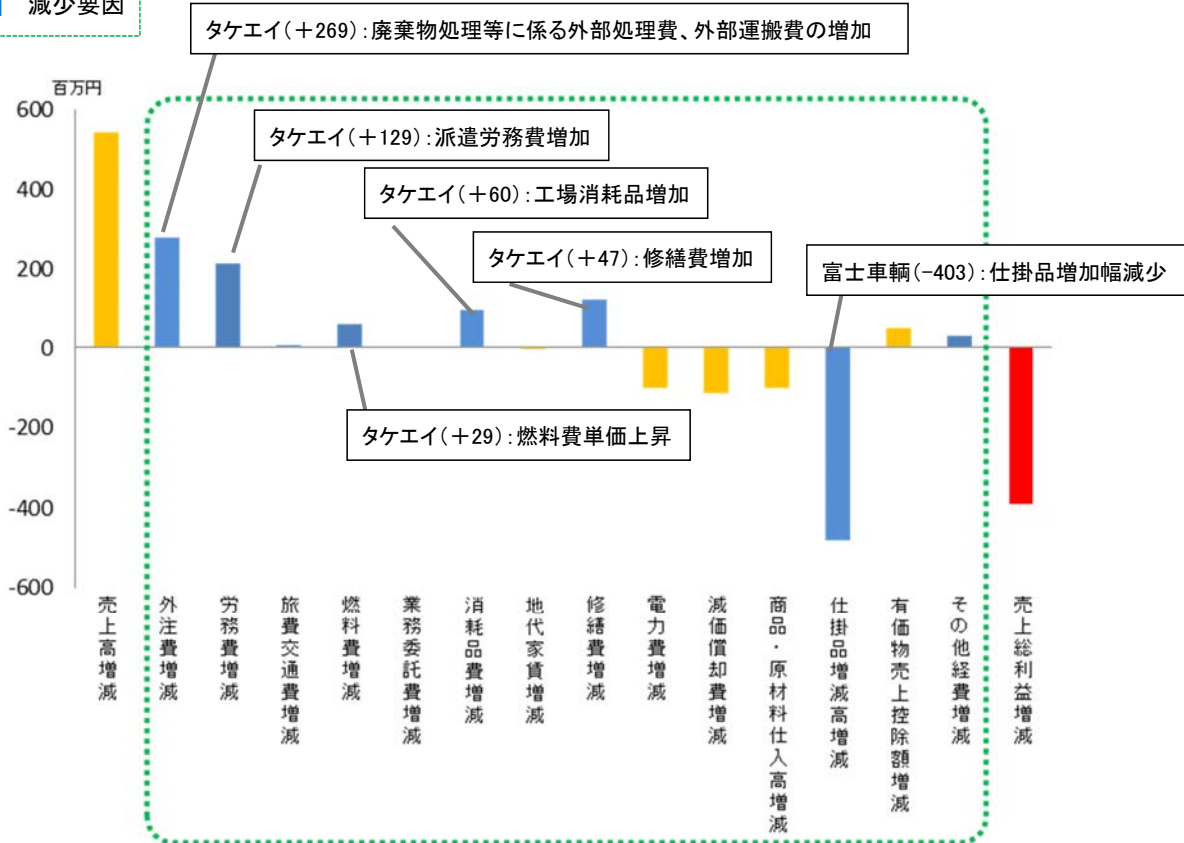
単位: 百万円

	H30.9 (2018/9)			第1四半期 (1Q)				第2四半期 (2Q)				
	<累計>	※前年同期増減			<四半期>	※前年同期増減			<四半期>	※前年同期増減		
		売上高比 % of sales	(増減) %pt YoY	前同比 % YoY		売上高比 % of sales	(増減) %pt YoY	前同比 % YoY		売上高比 % of sales	(増減) %pt YoY	前同比 % YoY
売上高	15,244	100.0%		7,380	100.0%	+3.9%	7,863	100.0%	+3.5%			
売上原価	11,991	78.7%	(+3.4%pt)	+8.4%	5,890	79.8%	(+5.2%pt)	+11.2%	6,101	77.6%	(+1.8%pt)	+6.0%
(うち)												
外注費	3,949	25.9%	(+0.9%pt)	+7.6%	2,071	28.1%	(+3.0%pt)	+16.3%	1,878	23.9%	(-1.0%pt)	-0.6%
労務費	2,982	19.6%	(+0.7%pt)	+7.7%	1,498	20.3%	(+1.0%pt)	+9.1%	1,484	18.9%	(+0.5%pt)	+6.3%
経費	5,428	35.6%	(-1.2%pt)	+0.3%	2,689	36.4%	(-1.2%pt)	+0.5%	2,740	34.8%	(-1.2%pt)	+0.0%
(うち)												
旅費交通費	269	1.8%	(-0.0%pt)	+2.8%	134	1.8%	(+0.0%pt)	+4.3%	135	1.7%	(-0.0%pt)	+1.4%
燃料費	375	2.5%	(+0.3%pt)	+19.3%	183	2.5%	(+0.3%pt)	+17.0%	193	2.5%	(+0.4%pt)	+21.7%
業務委託費	259	1.7%	(-0.0%pt)	+1.8%	135	1.8%	(-0.0%pt)	+2.8%	124	1.6%	(-0.0%pt)	+0.7%
消耗品費	427	2.8%	(+0.6%pt)	+29.4%	224	3.0%	(+0.9%pt)	+50.9%	203	2.6%	(+0.2%pt)	+11.9%
地代家賃	122	0.8%	(-0.0%pt)	-1.7%	59	0.8%	(-0.1%pt)	-5.1%	63	0.8%	(-0.0%pt)	+1.7%
リース料	126	0.8%	(-0.1%pt)	-9.5%	65	0.9%	(-0.2%pt)	-14.2%	61	0.8%	(-0.1%pt)	-3.9%
修繕費	540	3.5%	(+0.7%pt)	+29.8%	252	3.4%	(+0.3%pt)	+13.6%	288	3.7%	(+1.1%pt)	+48.4%
電力費	102	0.7%	(-0.7%pt)	-49.3%	56	0.8%	(-0.6%pt)	-42.0%	46	0.6%	(-0.8%pt)	-56.1%
減価償却費	1,028	6.7%	(-1.0%pt)	-9.9%	510	6.9%	(-1.1%pt)	-10.2%	518	6.6%	(-0.9%pt)	-9.5%
商品・原材料仕入高	1,766	11.6%	(-1.1%pt)	-5.3%	861	11.7%	(-1.0%pt)	-3.9%	905	11.5%	(-1.2%pt)	-6.7%
仕掛品増減高	-19	-0.1%	(+3.3%pt)	—	-213	-2.9%	(+2.6%pt)	—	193	2.5%	(+3.9%pt)	—
他勘定振替高	-82	-0.5%	(-0.0%pt)	—	-28	-0.4%	(+0.2%pt)	—	-54	-0.7%	(-0.3%pt)	—
有価物売上控除額(▲)	-270	-1.8%	(-0.3%pt)	+23.8%	-137	-1.9%	(-0.5%pt)	+44.6%	-132	-1.7%	(-0.1%pt)	+7.8%
売上総利益	3,253	21.3%	(-3.4%pt)	-10.7%	1,490	20.2%	(-5.2%pt)	-17.3%	1,763	22.4%	(-1.8%pt)	-4.3%
販売費及び一般管理費	2,516	16.5%	(-0.9%pt)	-1.7%	1,282	17.4%	(-0.2%pt)	+2.7%	1,234	15.7%	(-1.6%pt)	-5.9%
人件費	1,571	10.3%	(-0.3%pt)	+0.6%	800	10.8%	(+0.2%pt)	+6.3%	771	9.8%	(-0.8%pt)	-4.8%
その他経費	945	6.2%	(-0.6%pt)	-5.2%	482	6.5%	(-0.5%pt)	-2.8%	463	5.9%	(-0.7%pt)	-7.6%
(うち)												
のれん償却	35	0.2%	(-0.4%pt)	-60.4%	18	0.2%	(-0.4%pt)	-60.4%	18	0.2%	(-0.4%pt)	-60.4%
営業利益	737	4.8%	(-2.5%pt)	-32.1%	208	2.8%	(-5.0%pt)	-62.4%	529	6.7%	(-0.3%pt)	-0.6%
営業外収益	55	0.4%	(+0.0%pt)	+12.1%	33	0.4%	(+0.1%pt)	+21.7%	23	0.3%	(-0.0%pt)	+0.6%
(うち)												
持分法による投資利益	9	0.1%	(+0.1%pt)	—	8	0.1%	(+0.1%pt)	—	1	0.0%	(+0.0%pt)	—
営業外費用	303	2.0%	(+1.1%pt)	+126.4%	246	3.3%	(+2.4%pt)	+260.2%	56	0.7%	(-0.1%pt)	-13.7%
(うち)												
貸倒引当金繰入	191	1.3%	(+1.3%pt)	—	191	2.6%	(+2.6%pt)	—	—	—	—	—
支払利息	81	0.5%	(+0.0%pt)	+5.2%	40	0.5%	(+0.0%pt)	+6.5%	41	0.5%	(+0.0%pt)	+4.0%
経常利益	489	3.2%	(-3.6%pt)	-51.1%	-6	-0.1%	(-7.3%pt)	—	495	6.3%	(-0.1%pt)	+1.2%
特別利益	22	0.1%	(+0.0%pt)	+15.3%	10	0.1%	(-0.0%pt)	+3.9%	12	0.1%	(+0.0%pt)	+27.3%
特別損失	845	5.5%	(+5.5%pt)	—	201	2.7%	(+2.7%pt)	—	644	8.2%	(+8.2%pt)	—
税金等調整前四半期純利益	-335	-2.2%	(-9.1%pt)	—	-197	-2.7%	(-10.0%pt)	—	-137	-1.7%	(-8.3%pt)	—
法人税、住民税及び事業税	288	1.9%	(-0.8%pt)	-27.5%	141	1.9%	(-1.2%pt)	-37.1%	147	1.9%	(-0.4%pt)	-15.1%
法人税等調整額	-190	-1.2%	(-1.4%pt)	—	-99	-1.3%	(-1.2%pt)	—	-91	-1.2%	(-1.7%pt)	—
非支配株主に帰属する四半期純利益	85	0.6%	(+0.1%pt)	+37.4%	33	0.5%	(+0.2%pt)	+70.3%	52	0.7%	(+0.1%pt)	+22.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	-518	-3.4%	(-7.0%pt)	—	-273	-3.7%	(-7.7%pt)	—	-246	-3.1%	(-6.3%pt)	—

※百万円未満 四捨五入

粗利益増減分析（売上高・主要費用項目）（連結）

増加要因
減少要因



貸借対照表の動向（資産）（連結）

単位: 百万円

	H30/3末	(2018/3)	H30/9末	(2018/9)	増減額
		構成比		構成比	
(資産の部)					
流動資産	21,007	31.3%	20,427	30.0%	-579
現金及び預金	13,155	19.6%	12,355	18.1%	-799
受取手形及び売掛金	5,552	8.3%	5,328	7.8%	-224
商品及び製品	28	0.0%	19	0.0%	-9
仕掛品	805	1.2%	809	1.2%	+4
原材料及び貯蔵品	987	1.5%	1,029	1.5%	+42
未収入金	218	0.3%	421	0.6%	+203
その他	268	0.4%	475	0.7%	+207
貸倒引当金	-7	-0.0%	-11	-0.0%	-3
固定資産	45,277	67.4%	46,898	68.8%	+1,621
有形固定資産	42,158	62.8%	43,713	64.1%	+1,554
建物及び構築物	8,416	12.5%	8,894	13.0%	+478
機械装置及び運搬具	6,681	10.0%	6,373	9.3%	-307
最終処分場	660	1.0%	580	0.9%	-80
土地	17,054	25.4%	18,286	26.8%	+1,231
建設仮勘定	8,832	13.2%	9,113	13.4%	+281
その他	513	0.8%	464	0.7%	-48
無形固定資産	863	1.3%	854	1.3%	-8
のれん	342	0.5%	306	0.5%	-35
その他	520	0.8%	547	0.8%	+26
投資その他の資産	2,255	3.4%	2,330	3.4%	+74
投資有価証券	513	0.8%	509	0.7%	-3
退職給付に係る資産	86	0.1%	111	0.2%	+24
繰延税金資産	294	0.4%	320	0.5%	+26
その他	1,451	2.2%	1,668	2.4%	+217
貸倒引当金	-90	-0.1%	-280	-0.4%	-190
繰延資産	857	1.3%	859	1.3%	+2
資産合計	67,141	100.0%	68,185	100.0%	+1,043

- ➡ 現金及び預金 <減少要因> 設備投資に手元取り崩し
- ➡ 受取手形及び売掛金 <減少要因>・(株)タケイ (-267)、富士車輛(株)(-108)
- ➡ 未収入金 <増加要因>・(株)タケイ(+156)
- ➡ 建物 <増加要因>・(株)タケイ 相馬(+522)
- ➡ 機械装置 <減少要因>・(株)タケイ(-51)、(株)津軽BE(-49)、(株)花巻BE(-51)
- ➡ 土地 <増加要因>・(株)タケイ 相馬(+1,224)
- ➡ 建設仮勘定 <増加要因>・(株)北陸環境サービス (+372)
・(株)門前クリーンパーク(+241)
・(株)タケイグリーンリサイクル(+115)
・(株)横須賀BE (+463)
・秋田グリーン電力(株) (+1,087)
<減少要因>・(株)タケイ 相馬(-1,993)

※百万円未満切捨て

貸借対照表の動向（負債及び純資産）（連結）

	H30/3末 (2018/3)		H30/9末 (2018/9)		増減額
		構成比		構成比	
単位:百万円					
(負債の部)					
流動負債	10,977	16.4%	10,942	16.0%	-35
買掛金	1,245	1.9%	1,064	1.6%	-181
短期借入金	762	1.1%	802	1.2%	+40
1年内返済予定の長期借入金	5,818	8.7%	5,908	8.7%	+90
未払法人税等	458	0.7%	313	0.5%	-145
修繕引当金	21	0.0%	75	0.1%	+54
機械式立体駐車場関連損失引当金	—	—	185	0.3%	+185
その他	2,672	4.0%	2,592	3.8%	-79
固定負債	28,372	42.3%	30,834	45.2%	+2,461
長期借入金	26,514	39.5%	27,980	41.0%	+1,466
繰延税金負債	564	0.8%	393	0.6%	-170
退職給付に係る負債	334	0.5%	340	0.5%	+6
修繕引当金	45	0.1%	18	0.0%	-27
機械式立体駐車場関連損失引当金	—	—	656	1.0%	+656
役員株式給付引当金	38	0.1%	35	0.1%	-3
資産除去債務	450	0.7%	469	0.7%	+19
圧縮未決算特別勘定	—	—	617	0.9%	+617
その他	425	0.6%	322	0.5%	-103
負債合計	39,350	58.6%	41,776	61.3%	+2,426
(純資産の部)					
株主資本	26,791	39.9%	25,426	37.3%	-1,364
資本金	6,640	9.9%	6,640	9.7%	—
資本剰余金	7,262	10.8%	7,177	10.5%	-84
利益剰余金	13,798	20.6%	12,925	19.0%	-873
自己株式	-910	-1.4%	-1,317	-1.9%	-406
その他の包括利益累計額	140	0.2%	123	0.2%	-16
その他有価証券評価差額金	114	0.2%	98	0.1%	-16
退職給付に係る調整累計額	25	0.0%	25	0.0%	0
非支配株主持分	860	1.3%	858	1.3%	-1
純資産合計	27,791	41.4%	26,408	38.7%	-1,383
負債純資産合計	67,141	100.0%	68,185	100.0%	+1,043

- ➡ 買掛金 <減少要因>・株タケエイ (-128)
- ➡ 未払法人税等 <減少要因>・富士車輛株 (-104)
- ➡ 機械式立体駐車場関連損失引当金 <増加要因>・富士車輛株 (+185)
- ➡ 長期借入金 <増加要因>・株タケエイ (+1,666)
- ➡ 機械式立体駐車場関連損失引当金 <増加要因>・富士車輛株 (+656)
- ➡ 圧縮未決算特別勘定 <増加要因>・株田村BE(+617)
- ➡ 利益剰余金 <減少要因>・親会社株主に帰属する四半期純損失(-518)、配当(-354)
- ➡ 自己株式 <減少要因>・株タケエイ(-406)

※百万円未満切捨て

設備投資・減価償却費および従業員数・車両台数の推移（連結/個別）

<設備投資・減価償却費>

	単位:百万円			
	H29/4-9 (2017/4-9) (2Q期)	H30/4-9 (2018/4-9) (2Q期)	H30/3 (2018/3) (通期)	H31/3 予想 (2019/3) (通期)
設備投資				
連結	3,308	2,823	7,348	10,389
(うち 株タケエイ)	2,058	342	2,589	1,687
減価償却費				
連結	1,222	1,132	2,512	2,530
(うち 株タケエイ)	499	484	1,064	1,054
のれん償却	89	35	172	65

※百万円未満 四捨五入

<従業員数・車両台数>

	H29/9末 (2017/9)	H30/3末 (2018/3)	H30/9末 (2018/9)
期末従業員数 (人)			
連結	1,259	1,288	1,266
(うち 株タケエイ)	618	646	607
収集運搬車両 (台) 単体	281	276	280

<主な設備投資 2018/9実績>

株タケエイ	3億円
株北陸環境サービス	4億円
株門前クリーンパーク	2億円
株横須賀バイオマスエナジー	5億円
秋田グリーン電力株	11億円

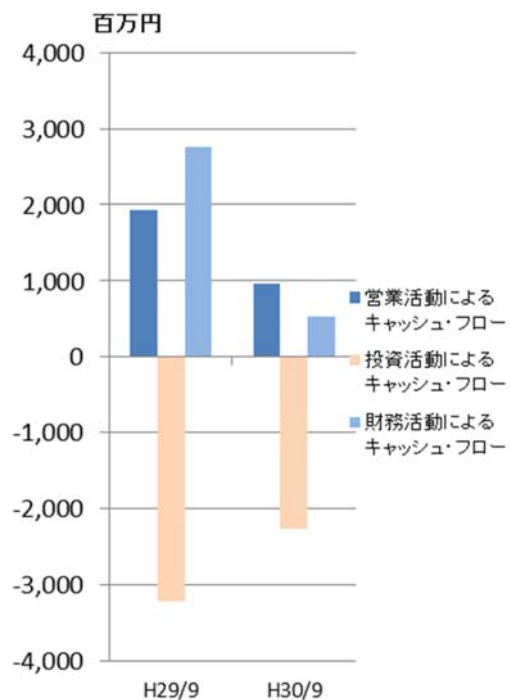
<主な設備投資 2019/3(計画)>

株タケエイ	川崎RC 設備改修、作業環境改善、重機・車輛入替など	5億円
	東京RC 設備改修、重機入替など	3億円
株北陸環境サービス	新処分場建設	9億円
株門前クリーンパーク	処分場建設、アセスメント調査費用など	23億円
株タケエイグリーンリサイクル	工場新設、重機入替・購入など	4億円
株横須賀バイオマスエナジー	建屋・発電プラント、重機・車輛購入など	5億円
株田村バイオマスエナジー	建築費、ボイラー設置、放射線測定器購入など	12億円
秋田グリーン電力株	発電所建設、ボイラー設置、重機購入など	23億円

単位: 百万円

	H29/9 (2017/9)	H30/9 (2018/9)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,931	967
投資活動によるキャッシュ・フロー	-3,209	-2,269
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,751	528
現金及び現金同等物の増減額(マイナスは減少)	1,472	-773
現金及び現金同等物の期首残高	11,128	12,661
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,601	11,888

※百万円未満切捨て



＜主な内訳＞

(単位: 百万円)

	H29/9	H30/9
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は純損失	1,018	-334
減価償却費	1,222	1,131
機械式立体駐車場関連損失引当金	-	841
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	-3,175	-2,821
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	6,422	4,490
長期借入金の返済による支出	-2,692	-2,943

今期の決算見通し (連結)

＜決算見通し＞

単位: 百万円

	H30/3 (2018/3)		H31/3 (2019/3)			上期		下期	
	<実績>	売上高比	<予想>	売上高比	前期比	<実績>	前年同期比	<予想>	前年同期比
売上高	31,084	—	32,400	—	4.2%	15,243	3.7%	17,156	4.7%
営業利益	2,402	7.7%	2,000	6.2	-16.7%	736	-32.1%	1,263	-4.1%
経常利益	2,292	7.4%	1,700	5.2	-25.9%	489	-51.1%	1,211	-6.3%
当期純利益 又は純損失 ◆	1,356	4.4%	180	0.6	-86.7%	-518	—	698	-15.6%

◆親会社株主に帰属する当期純利益又は純損失 ※百万円未満切捨て

プラス要因

・築地市場の解体工事、東北復興プロジェクト(葛尾村の除染廃棄物等運搬他)

マイナス要因

・外注処理費の高騰が継続



(株)田村バイオマスエナジーの建設予定地(田村市産業団地内囲み部分、約3.3ha)

富士車輛(株)の機械式立体駐車場全件点検結果について

点検及び補修方法策定に際する基本方針

人命尊重の観点から重大な事故の発生を是非とも防がなければならないという安全確保を第一に据え、緊急性の高い補修を速やかに行い、続いて、部材の見直しを図ることで安全確保に万全を期すことを目指します。

点検結果について

点検件数	248件
亀裂が生じている機械式立体駐車場	20件
同様の構造となっている機械式立体駐車場	70件

富士車輛(株)の沿革

- 1944年 2月 富士造機株式会社を設立し、大阪府南河内郡狭山町(現大阪狭山市)に本社・大阪工場を建設し、鍛圧機械及び鋳鉄、鉄鋼品の製造を開始
- 1945年 9月 商号を富士車輛株式会社と改称
- 2001年 2月 民事再生手続き開始
- 2001年 6月 機械式立体駐車場事業から撤退
- 2014年 6月 株式会社タケエイによる100%子会社化

今後の補修スケジュールについて

	2018年					2019年			来年度
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
点検									
溶接部亀裂物件 リブ取付け									
亀裂物件と同構造の 物件 リブ取付け									
落下防止装置取付け									
それ以外の補修			*						

補修費用について

補修内容等	補修費用
調査費用及びレール支持金物の溶接部亀裂物件の補修	9百万円
亀裂物件と同構造のレール支持金物の倒れ対策	30百万円
パレットの落下防止装置の取付	150百万円
吊上げローラーチェーン型式変更他	656百万円
合計額	845百万円

第1四半期で200百万円、第2四半期で645百万円を特別損失として計上

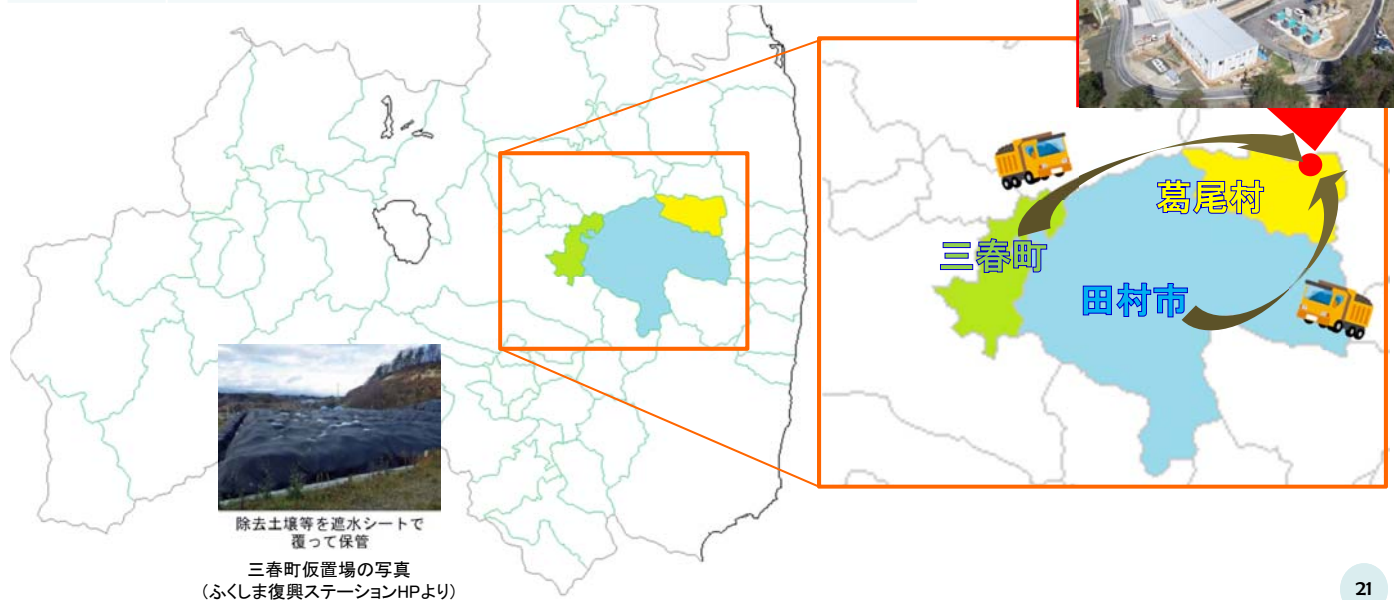
※原則として来年度の施工となりますが、工事を迅速に進めるために上記優先工事と同時進行となる場合があります。

葛尾村における可燃性除染廃棄物等の収集運搬業務を受託

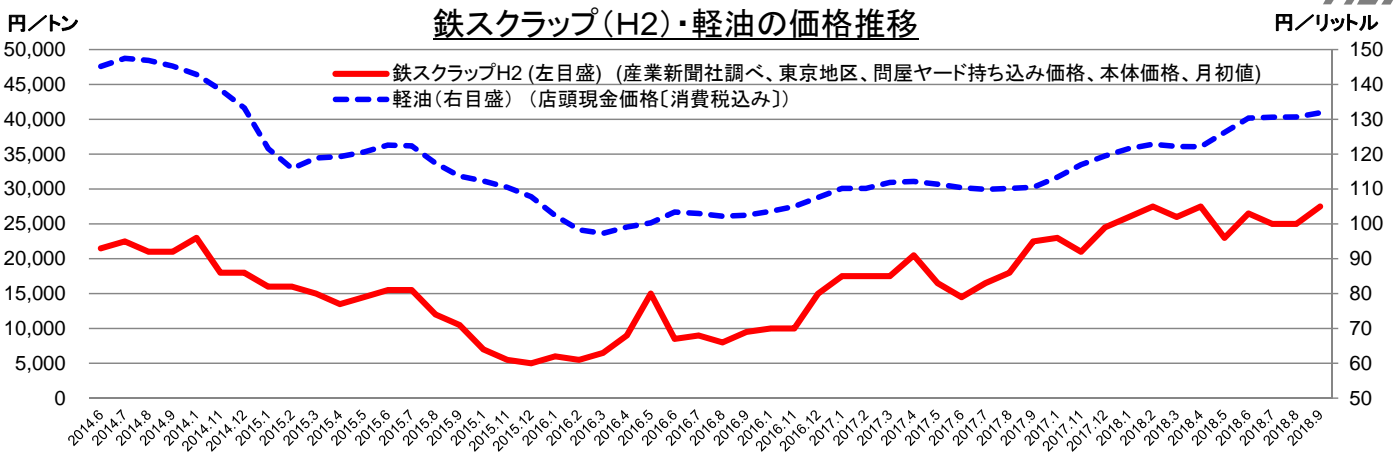
「平成30年度葛尾村広域処理における可燃性除染廃棄物等の収集運搬業務」を、環境省福島地方環境事務所より受託いたしました。東日本大震災の復興に引き続き貢献して参ります。

発注者:	環境省 福島地方環境事務所
業務名:	平成30年度葛尾村広域処理における可燃性除染廃棄物等の収集運搬業務
契約年月日:	平成30年9月26日
契約方法:	入札単価契約
契約業者名:	株式会社タケイ
契約業者の住所:	東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビル A-10F
履行期間:	平成30年9月26日～平成31年3月29日
業務概要:	本業務は、福島県田村市及び三春町において、各市町が実施した除染で発生した除染廃棄物であって、同市町内の仮置場に保管されているものうち可燃性除染廃棄物及び葛尾村で発生した対策地域内廃棄物(以下、「可燃性除染廃棄物等」という。)の運搬等を行うものである。
契約金額:	253,800,000円(税込)

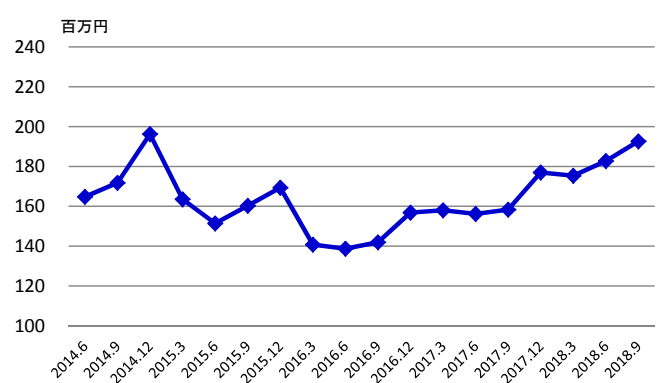
葛尾村仮設焼却施設



軽油及びスクラップ価格と当社グループに与える影響



㈱タケイ(連結)の燃料費推移



㈱タケイメタルの売上高推移

